

【Q&A】

Q Googleが2012年3月から導入した新しい利用規約がプライバシー論議を呼んでいるが、大学として何か対策を考えているか。

Googleの新プライバシーポリシーは、今回大学が導入する「Gmail(Google Apps for Education)」にも適用されますが、これによって、Gmailの導入を中止する、もしくは延期する等の措置をとることは、今のところ予定しておりません。

ちなみに、Googleの一般ユーザ向けアカウントと、今回大学が導入するGoogle Appsのアカウントは別ものであり、後者は、Google社ではなく、ドメイン管理者(本学では図書・情報館)が管理を行います(学内のアカウント管理システムと連携してGoogleのサービスを利用する形になります)。

また、大学がGoogleのサービスを利用するうえで、Google Apps上に登録しているユーザ情報は、氏名とメールアドレスのみです。

Googleは、「新方針はユーザーの利便性を高めるのが目的」「新たな情報を収集するものではない」としていますが、個人情報を一元管理することについて、プライバシー保護の観点でご懸念があるようでしたら、以下のいずれかの対策をとられることをお勧めします。

- ・大学のメールでは、ブラウザでなく一般のメーラ(メールソフト)を使う。
- ・大学のメールをブラウザで使う場合、Googleの一般ユーザー向け無料サービス(Google検索、YouTubeなど)について、ログインせずに使える場合はログアウトして使う(注:これらのサービスは、GmailにGoogleAppsアカウントでログインした状態のままですと、そのアカウントで利用できてしまいます)。もしくは、個人のGoogleアカウントと切り分けて、場合によってはサービスごとでもアカウントを切り分けて使う。
- ・Gmail以外のGoogleのサービスは使わない(他社のサービスを使う)。

なお、図書・情報館では、今回の問題に対するGoogle側の動きや他大学の動向等について引き続き注視していくとともに、状況に応じて、学生・教職員に必要な情報提供や注意喚起を行うなどの対応を行っていきたいと考えています。

参考:

Google AppsとGoogleアカウントの違い

<http://support.google.com/accounts/bin/answer.py?hl=ja&answer=72709>

ポリシーと原則 よくある質問

<http://www.google.com/policies/faq/>

グーグル新指針に波紋 電話番号・閲覧履歴、幅広く収集

朝日新聞、2012年2月25日朝刊、9頁

気を配るポイントは？ 閲覧履歴削除などで対策(Q&A)

日本経済新聞、2012年3月1日朝刊、11頁